

# 公共施設の20%削減計画の見直しを 長寿命化の対応で削減必要なし

福生市は、昨年3月、国の方針に基づき、公共施設等総合管理計画を発表しました。この中で、福生市の市民一人当たりの公共施設延べ床面積が東京26市の平均より20%削減するという方針を示しています。

しかし、福生市の歴代の市長は、市民の自主的な学習活動、文化活動、スポーツ活動を推進する立場から、子どもからお年寄りまで誰でも歩いて行かれる場所に公共施設があることを重視してきました。中学校区ごとに公民館、図書館、体育館を、小学校区ごとに地域集会施設を整備してきたのです。このことが200近い公民館サークルの活発な活動や、市民の旺盛な図書館・体育館利用につながり、生き生きとしたまちづくりに役立ってきました。今でも、公民館や地域施設は抽選で利用者を決めるなど、足りない状況です。

せっかく市民と行政で育ててきた福生市の良さを、20%削減によって、福生市を平均的な自治体に引き下げ、市民活動を委縮させてしまっているのでしょうか。それは、「教育立市（学校教育＆社会教育）」「健康寿命」を重視する現市政の方針とも矛盾します。今必要なのは、いかにして、福生市の良さを維持していくかの検討・努力ではないのでしょうか。「20%削減」が先行するのは危険です。

私は、9月市議会の一般質問（9月6日（木）午後）で、この問題を取り上げます。川崎市などの例を取り上げ、長寿命化工事を基本に計画することで、費用を削減し、公共施設の削減を前提としない総合管理計画として見直すよう求める予定です。ぜひ、傍聴にお越しください。

日本共産党 福生市議会議員

池田 公三  
いけだ こうぞう

がご相談に応じます。

日程は、お電話  
いただければ、調  
整いたします。



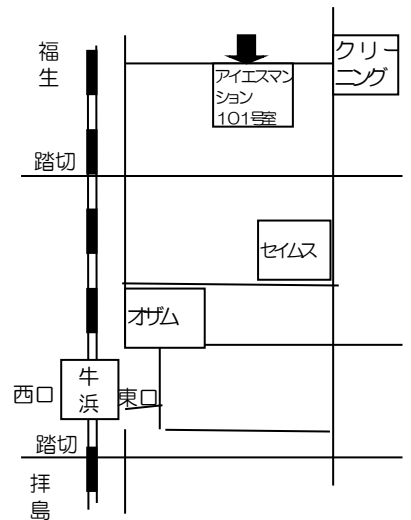
## なんでも生活相談

9月のなんでも生活相談会のお知らせです。困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。法律上の相談にも弁護士さんと一緒に対応しています。

日時 9月4日（火）午後7時から

場所 池田公三事務所（駐車場あります）

福生市志茂115 アイエスマンション101号室  
Tel 042-530-0705



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2018年 9月 号外  
日本共産党福生市委員会  
責任者 太田  
福生市志茂 115 101号室